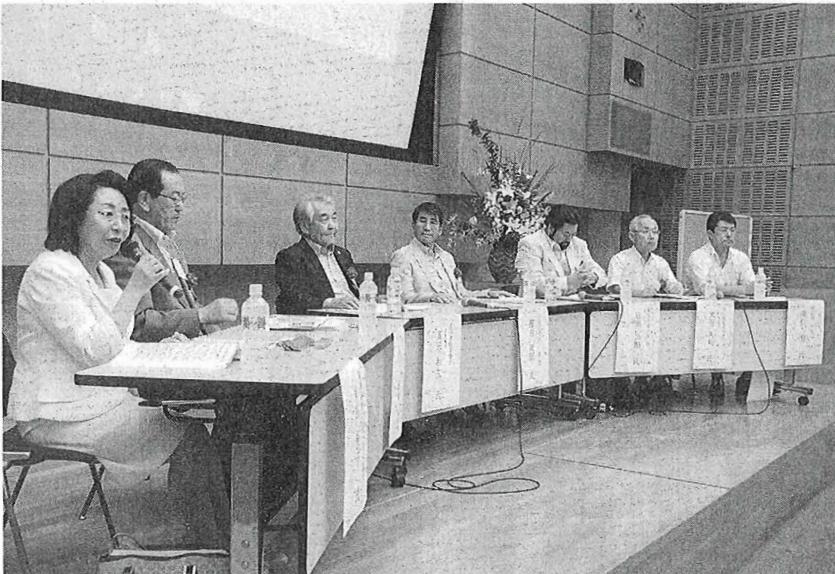




## パネルディスカッション「東日本大震災復興の課題と地域建設業の役割」

# 現場の実情に沿った迅速な対応を



復旧・復興に向けた課題をさまざまな角度から話し合ったパネルディスカッション



深松 努氏



富田 和久氏



本田 敏秋氏

# 民間の知恵を積極的に活用

## 思い切った規制緩和が必要

# 求められるバランスの視点

東日本大震災は、現代の日本の社会が抱える弱点や課題を顕在化させた。被災地を今後う復旧・復興させていくにはいかないか。また建設業は地域社会の中での役割を果たしていくべきなのか。学識経験者や地元関係者が話し合った。

A black and white photograph of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a light-colored shirt. He is holding a microphone in his right hand and appears to be speaking or presenting. The background is slightly blurred.

A black and white portrait of a man with dark hair and a full beard. He is wearing a light-colored suit jacket over a white shirt. He is holding a microphone close to his mouth with both hands. The background is slightly blurred, showing what appears to be an indoor setting with other people.

目黒 公郎氏

A black and white portrait of a man with glasses, looking slightly to the right. He has short hair and is wearing a light-colored shirt.

米田　復旧・復興に向  
けた対策のスピードが問  
われている。

4年の米国のノースリージ地震の際に、あつた高速道路橋の被害で日本では起らぬことと同じミスを回り返して専門家としている。省している。

大石 今回の大地震は、厳しい自然の国として嘗めらるることの自覚と覚悟をあらためてわれわれを問っている。日本の成長期は自然災害が少く、極めて幸せな時代だった。しかし、たまたままただけであり、いつの時期が長く続いた。災害は、日本が安政のような災禍発生期につことを告げている。そういった認識思ふ。そのためにはならない。

# 域の安全守る



大石 久和氏

当地区的復興に取り組む

かたとなく、人員を投

入した側が学ぶ部分も大

きく、今後の災害対応に

も大きく影響する。

深松 がれきの処理の

率だけで評価するべきで

はない。例えば、仙台市

のがれきは130万m<sup>3</sup>、

石巻市は630万m<sup>3</sup>あ

る。仙台市の50%は、石巻

市に運びこえてくる。被災

地の環境の悪化が進む中

いとマスクでは伝えら

れてる。しかし、進捗

が大きくなる。

大石 久和氏

## 果たすべき、国家の責務 大石氏

## 耐津波学の構築を提案 濱田氏

## 復興担う建設業に誇り 深松氏

い。

富田 がれき処理の問

題では、地元からは、内

地盤も安定している。そ

こで、後方支援中継基地

構築に着手した。

年と08年に大規模な災

難訓練を行った。今回の震

災でも自衛隊や警察など

多くの人が市に集結し、被

災地に向かった。

また、それぞれの被災

地に何が必要か市の職

員が現地に直接入りて調

べ、食料や生活物資を送

った。後方支援基地として

一定の役割を果たすこ

とができた。

しかし、地元の行政機

能を喪失するような大災

害が起つて、災害救助

法や災害対策基本法で決

まっている。市町村や県、

国の役割が有効に機能し

たのか、いろいろ点では疑問

がある。現場が求める対

応を、もうひとつのスピード

しに実現しなかつたがども

感じている。

震災から4ヶ月以上が

経過したが、被災地では

まだ多くの人が家族の元

に帰れない無念の中に置

かれている。いまからで

も遅くなない。現場の求め

に応じて対策のスピード

を上げていいくべき。

復興財源を議論する前

に、「行くべきことはす

ぐに実行する」というス

ケービングは民衆が信頼する

べきではない。

黒 今回の震災は、

災害対策基本法の限界を

超える規模だった。法を

改正してきちんととした対

策を行なうべきではない

。市町村の対応では、

県を境に、隣接する自治

体間でバランスを失いた

い。復興が進むのは、

復興支援策として参考

とすべき取り組みに、中

の心配があるほどだ。ハ

国が四川大地震に際して

導入した対口(たいこう)

支援がある。被災地を復

旧する。その地区を全国の省

が責任を持って支援す

る。省や都市が競って担

いることを知つてほし

よくなつた。しかし、

外せない。そいつた苦

しい状況の中で格闘して

いることを知つてほし

よくなつた。しかし、

外せない。そいつた苦

しい状況の中で格闘して